

事務事業No.	13-	2
事業名	下水道事業会計	
会計特会	課名	上下水道課
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	係名
施策	9-6 上下水道整備・管理	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	下水道施設	目的 (対象がどのような状態になっているか)	一般会計からの繰出金により下水道使用料の著しい高騰を抑制するとともに、下水道事業の経営安定化を図り、将来にわたってサービス提供を可能にすることで、公共用水域の水質保全と町民の生活環境の改善を目指す。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理費・・・管渠、マンホールポンプなどの施設の維持管理 流域下水道管理費・・・汚水処理場における光熱水費、薬品費などの処理費を排水量に応じ負担 管渠整備費・・・下水道事業に係る計画策定業務、管渠整備に係る設計及び工事 流域下水道事業費・・・北勢沿岸流域下水道（北部処理区）処理施設の改修及び耐震補強工事等 地方債元金償還金・・・管渠整備費などに係る元金償還金 地方債利子償還金・・・管渠整備費などの地方債借入額に係る利子償還金 上記費用のうち「地方公営企業繰出金について（総務副大臣通知）」において、地方公営企業法の適用に要する経費など公費負担が妥当として、一般会計からの繰出し基準を設けている「基準内繰出金」と、自治体の政策的判断で事業収入の不足分を補てんする「基準外繰出金」がある。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
1	下水道管が起因する事故件数	0	0	0	件		0	
2								
3								
4								
5								
		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		749,658		1,262,262		1,335,657		
財源内訳	直接事業費A	721,458		1,234,062		1,302,657		
	うち一般財源	300,000		260,000		299,000		
人件費（千円）B		28,200		28,200		33,000		
内訳	一般職員（人・千円）	4 26,400		4 26,400		5 33,000		
	臨時職員（人・千円）	1 1,800		1 1,800		0 0		

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	C削減の余地が大きい
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	経営基盤の強化に努めながら、ストックマネジメント計画に基づき、効率的で適切な施設の改築・更新維持管理を進められるよう、施設更新に合わせ、機器による省力化を行う。	③取組の課題	維持管理に多額の費用が必要となる中、財源である使用料収入は人口減少等が想定されるため、定期的に適正な使用料の見直しが必要である。
②R5年度に実施した取り組み	令和5年度から地方公営企業法を適用し公営企業会計に移行した。事業としては、長深地内の管渠布設工事の他、ストックマネジメント計画に基づきマンホールポンプの更新工事を実施するろるもに、不明水調査を実施し、修繕箇所を特定した。	④今後の改善計画	経営基盤の強化に努めながら、ストックマネジメント計画に基づき効率的で適切な施設の改築・更新維持管理を進められるような事業運営を目指す。